

平成30年度 第2回京北第二小学校学校評価の結果と分析

本校教育活動をより充実するために、今年度2回目、後期の学校生活について、児童・保護者のアンケートを実施しました。お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

学校評価のアンケート結果を表にまとめ、そこから質問項目を焦点化して分析・考察いたしました。この内容をもとに、今後もよりよい教育活動を推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■学校教育目標

京北地域の主体者として、伝統と文化を受け継ぎ、自らの進路と未来を切り拓いていく
子どもの育成

■めざす子ども像

- 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ふるさとを愛し、思いやりのある子
- 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

■学校評価の目的

- 学校教育目標・めざす子ども像の達成に向けての学校教育の取組について、学校評価を通して、成果と課題を明らかにし、よりよい学校への改善を図る。
- 保護者・地域の方に、育てたい「子ども像」や課題を知っていただき、子ども達への教育を共に進めていく。
- 児童も後期の生活を振り返り、よりよい学習や生活ができるようにする。

学校生活 (A そう思う、B 大体そう思う、C あまりそう思わない、D そう思わない、数字は%)

保護者	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①お子たちは、は学校生活を楽しく送っていますか。	73	24	3	0	78	20	2	0
②お子たちに、友達を大切にし合う関係は育っていますか。	53	43	4	0	63	35	2	0
③思いやりの心やいじめを許さない心は育っていますか。	47	49	4	0	51	45	4	0
④学校は授業や行事を通して、健康教育や保健教育に積極的に取り組んでいますか。	59	37	4	0	63	37	0	0
児童	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校は楽しいですか。	76	22	2	0	71	24	5	0
②友達を大切にしていますか。	87	13	0	0	93	7	0	0
③友達に嫌なことを言ったり、したりせず、相手の気持ちを考えて、行動していますか。	71	29	0	0	69	31	0	0
④健康にすごせるように、外で元気に遊んだり、手洗いうがいを忘れずにしたりていますか。	78	22	0	0	67	27	4	2

このカテゴリーでは、どの質問項目においてもA(そう思う以下A)・B(そう思う以下B)合わせて90%以上となっています。保護者においては、全項目で前期に比べてAが増えています。ただ、①②③の質問項目について少数ですが、C(あまりそう思わない以下C)の回答があり、見過ごすことができないと考えています。また、①においては児童についてもCが5%となっています。児童のCの回答を詳しく見てみると、前期にCと回答した児童と後期にCと回答した児童は違っていました。当然ではありますが、児童の心の状況はその時々で変わります。ですので、児童の様子をしっかりと見て、時には積極的なコミュニケーションをとっ

て、実態を把握していくことが大切であると考えます。そして把握した実態を保護者と共有していくことも積極的に行っていきたいです。また、教職員同士の児童についての情報交換も、さらに密に行っていけるようにしたいと考えています。小学校では担任とかかわる時間が学校生活のほとんどです。ただ、クラブや委員会活動、清掃活動等では、他の教職員ともかかわる機会があります。その時に児童の実態を把握してかかわると、そうでないのとでは教育効果は大きく変わります。現在も定期的に児童や学級について情報交換する機会はもっていますが、さらに、情報交換できる機会をつくっていき、児童への効果的なかかわりを担任はもとより、その他の教職員についても行い、全児童がいつアンケートをとっても学校生活が楽しいと回答できるようにしていきたいです。

④健康教育や保健教育については、前期の評価をふまえ、指導を行った時にはホームページなどにアップしたり、学級便りで紹介したりしてきました。保護者においては、Cがなくなり、前期と比べてAが増えました。今後も積極的な発信を続けるとともに、保健室で指導したこと学到級で生かしていくように連動した取組を行っていきたいです。

学習 (A そう思う、B 大体そう思う、C あまりそう思わない、D そう思わない、数字は%)

保護者	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校は、工夫して分かりやすい授業を行うなど、学力の充実、向上に積極的に取り組んでいますか。	43	51	2	4	49	45	4	2
②お子たちは、意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解していると思いますか。	25	69	4	2	37	51	10	2
③お子たちは、授業などでクラスや仲間に自分の考えを表現・発表することができていますか。	36	56	6	2	43	49	8	0
④お子たちは、いろいろな課題についてあきらめず粘り強く取り組めていますか。	33	55	12	0	35	53	12	0
児童	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①授業は分かりやすいですか。	76	22	2	0	76	22	2	0
②授業では、勉強していることが、よく分かりますか。	76	22	2	0	78	20	2	0
③授業中、手をあげて、自分の考えを発表していますか。	72	24	2	2	65	31	2	2
④難しい問題でも、すぐにあきらめずに、粘り強く考えていますか。	67	27	4	2	67	27	4	2

②については、保護者においてC、D（そう思わない以下D）の合計が12%となり、前期よりも増えています。後期の評価は次の学年へと近づきつつある時期に行います。今の学年の学習内容を総合して理解しているのかを振り返ってみると、理解しきれていない部分もあると捉えられているのではないでしょうか。ただ、児童は前期とほぼ変わらない結果となっています。今現在の学習内容はよく分かっていますということなのでしょうか。この後、多くの学年で学習のまとめが行われます。自分が今の学年の学習で何を理解でき、何ができるようになったのか自分自身で認識できるようにし、不足している部分を進学、進級前に少しでも補つていけるように取り組んでいきます。

③については、前期に比べて保護者ではAが増え、児童ではAが減っています。前期の評価でも取り上げましたように、授業では集団で話し合う活動を重視しています。授業参観などでもそうした場面を見ていただいて

いるのではないか。ただ、話し合う活動を重視するということは、やみくもに自分の意見を表現することを求めるだけでは児童の負担を増やし、ややもするとよく理解している児童のみが発表するような授業になってしまいます。やはり、話し合う必然性を児童がもてるよう授業の導入場面を工夫し、一人で考える時間をしっかりと確保し、時には2人組やグループによる話し合いを取り入れて、自分の考えをより明らかにした上で、クラス全体での話し合いをしていくような学習展開をすることが必要であると考えています。今後もよりよい授業づくりのための研鑽をつみ続けていきます。

家庭生活 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期				後半			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①お子たちには、家庭での学習の習慣を身につけさせていますか。	37	47	14	2	33	55	12	0
②お子たちには挨拶をするなど基本的な生活のマナーを守らせていますか。	55	45	0	0	59	43	8	0
③お子たちには早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけさせていますか。	49	47	4	0	49	43	8	0
④お子たちにはテレビゲーム・情報通信機器（ネット・SNS等）の時間や約束を守らせていますか。	37	41	20	2	33	49	16	2
⑤お子たちには家の役割を持たせていますか。	41	39	20	0	31	53	14	2
⑥お子たちとは家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふれあいの時間をもっていますか。	53	45	2	0	51	47	2	0
児童	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①家で、宿題などの勉強はしっかりできていますか。	75	20	5	0	55	35	9	1
②「おはよう」「ありがとう」など、あいさつはできていますか。	82	18	0	0	76	18	4	2
③家で、「早寝ね・早起き・朝ご飯」はできていますか。	63	29	6	2	80	20	0	0
④テレビ・ゲーム・スマホ・タブレットなどについて、おうちの人との約束を守っていますか。	79	15	6	0	74	20	4	2
⑤家で、きまったくお手伝いをしていますか。	62	29	6	3	59	28	11	2
⑥おうちの人と学校であったことを話したり、一緒に遊んだりしていますか。	65	27	8	0	67	22	7	4

①の家庭学習についてですが、保護者については大きく数字は変わっていませんが、児童においてAが減り、Cが増えています。前期の評価の中で、家庭学習の内容を工夫するということを取組の1つとしてお伝えしましたが、本当にできていたのかを教職員の中で振り返っています。工夫の方法として例えば、2つあります。1つは児童がやりたくなるような問題にする。毎回というわけではないにしても時にはゲーム性のある、取り組んでみたいと思わせるものを用意するのもいいのではないでしょうか。もう1つは、次の授業で活用することを家庭学習にするというものです。そうすることで家庭学習の必要性がでてきます。ただこうした家庭学習は「これでいいのだろうか」という不安を感じながら取り組む児童がでてくることも考えられます。そんな児童の様子があれば、ぜひ相談にのってあげてほしいです。または「明日先生に相談すれば」と一言言っていただけでもありがとうございます。家庭学習と授業がリンクしていることを児童が実感できることがとても大切だと考えています。

⑤については、保護者でC・Dの合計が前期と比べて減ってはいるものの16%あります。また、Aが10%減っています。そして、児童ではC・Dの合計が13%となり、前期より増える結果となりました。前期の評価でも記述したように、道徳や家庭科、生活科で、家庭での役割を果たすことの必要性や価値については学習し

ています。児童が家での役割を果たした時に、当たり前としてしまわず、積極的に評価していくことが大切であると思います。学校での頑張りを家庭にお伝えし、家庭でも評価していただくことで児童の意欲はとても高まります。それと同じように、家庭でのがんばりを学校が教えていただき、学校でも評価していくことで、家庭での役割を果たしていく意欲が高まり、継続していくことができるのではないかでしょうか。家庭と学校が情報共有し、より効果的な教育を進めていきたいです。

学校運営 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校行事は子どもの力を育てるものになっていますか。	75	22	3	0	69	31	0	0
②学校は、保護者に教育目標やめざす児童像を分かりやすく伝えていますか。	55	41	4	0	47	45	6	2
③学校は、学校便りや学級通信、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていますか。	63	37	0	0	59	33	6	2
児童	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学習発表会や駅伝持久走大会、社会見学などの学校行事は自分の役に立っていると思いますか。	76	20	4	0	76	15	5	2
②学校の目標、クラスの目標達成を目指して、活動していますか。	71	25	2	2	69	31	0	0
③クラスのお便り、ホームページなどで、学校のことや予定についてよく分かりますか。	76	16	6	2	78	15	5	2

いずれも A・B の合計が 90%以上あります。ただ、③について、保護者では C D (合計 8%) が増えていきます。児童でも C D の合計が 7%となっています。自由記述でもご指摘いただいたように、ホームページの掲載に学級差があるのが要因であると考えています。学級便り等でも、一週間の児童の頑張りをお伝えしているところですが、ホームページは即時性があり、ご家庭で学校の様子を話題にしていただきやすいのであろうと考えています。教職員間でも声をかけ合い、タイムリーに児童の頑張りをお伝えできるように努めています。

学校・保護者・地域との連携

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①学校・担任は保護者の相談に丁寧に対応していますか。	69	25	6	0	63	29	6	2
②子どもは、地域の行事等に参加していますか。	80	20	0	0	84	14	2	0
③学校・家庭・地域が協力して子ども達の安全や健全育成に努めていますか。	76	22	2	0	71	29	0	0
児童	前期				後期			
	A	B	C	D	A	B	C	D
①困ったことがあった時は、担任の先生に相談していますか、また、しようと思っていますか。	60	33	7	0	65	24	6	5
②地域のお祭りや行事には積極的に参加していますか。	73	27	0	0	64	36	0	0
③地域や近所の人とあいさつしたり、お話ししたりできていますか。	76	20	4	0	71	22	6	1

①については、前期にも取り上げ重点分析しましたが、後期に C D の合計が増える結果となりました。保護者や児童の相談に十分に対応できていないのではないかと考え、重く受け止めています。相談の内容をしっかりと

と捉え、よりよい対応と一緒に検討させていただき、その結果を共有する。当たり前のことですが、今一度その基本に立ち返って取り組みたいと思います。

ただ、担任に相談しなくとも、保護者や担任外の教職員に相談し、問題を解決している場合もあるかと思います。前期にも記述しましたように担任以外の教職員の相談の窓口は開けておきたいと考えています。そして、スクールカウンセラーに授業を参観してもらう等、児童に窓口が開いていることを認識してもらえるような取組も進めていきたいと考えています。

保護者アンケート自由記述から（抜粋）

□現在の二小の先生方のがんばりには本当に頭が下がる思いです。保護者も負けないように頑張っていかなければと、良い刺激をいただきました。ありがとうございます。

□子どもが授業中（自分も含めてかもしれません）うるさいと言っています。集中できないそうです。

ホームページは各学年の記事数に偏りがありすぎて、特に3年生が少なすぎて残念です。数は先生によるのでしょうか。一度お願ひして、その日に更新されましたが、その後パッタリですね。

□たくさんの先生方に1人1人の子どもたちを見てもらえて、楽しく学校生活を送っているような気がします。ありがとうございます。

□2月5日の一貫校説明会に参加しました。欠席の方も多かったと思うので、当日出た質問、それに対する返答など、紙面上で欠席の方にもシェアしていただけたら嬉しく思います。ありがとうございます。

第二小があと一年と思うと本当にさびしいですが、楽しく元気な最終学年を皆が過ごせればと願っています。

□お米をつくり、鮎を食べたり、里山で楽しく学んでいます。

□他の小学校で非暴力コミュニケーショントレーニングに基づいた対話をする力を育てるような授業をしていると聞いた。例えば、意見が異なる時、対立する時に、どのようにお互いの意見を尊重しつつ自らの意見を伝え、その折衷案を導くのか、子どもたちが自ら考え行動できるような、ロールプレイやシミュレーションする機会をもつことができるような活動をしてほしいと望みます。お互いの立場を思い、尊重する気持ちや人権感覚に基づいた考える力や行動力を育てるには、道徳の授業で教科書に沿って「いいこと、悪いこと」を一方通行に教える（伝える）だけでは不十分だと思います。

□先生方には熱心にご指導いただき感謝しています。

□学校側の理想が高すぎるし、それを押し付けられる部分もあって困る。子どももそれがストレスになっている。例えば、生活習慣をやめるか、一年に一回にしてほしい。

□子どもたち一人一人に合わせたかかわりというのは、とても難しいことです。先生たちにゆとりがないと、対応の難しい子を理解しようとするることはできないのではないかと思います。いじめの小さい芽、あるように思います。先生の言葉のプレッシャー、○○大会のプレッシャー。はげみになっている子とそうでない子、どうよりそっていくのか、行事を見直してみてもよいのではないかと思います。一人一人が本当に平等に尊重されているか・・・。子どもたちにあたたかいまなざしを、よりそう姿を、伝えていってほしいと思います。でも、やればやるほど先生の負担は大きくなるので、心と体をこわさない程度で・・。そして、家庭で気を付けてほしいこと、ここを努力すればのびるよ、ということなど、知らせてほしいです。一緒に子どもにかかわっていきたいです。（長々とすみません。いつも感謝していることを前提に書いています）

□日頃のあたたかいご指導、ありがとうございます。娘は毎日楽しそうに登校しています。先生方が丁寧に接して下さっているおかげだと思います。きちんとした字を丁寧に書くことと大人に対して敬語を使うこと（先生への話し方）を細かく指導してほしかったです。

学校評議員会より

- できていないことを指摘してばかりでは、子どものやる気もなくなってしまう。子どものうちは特に「あなたにはこんないいところがあるよ」とほめて育てるのがいい。
- お手伝い、家庭での役割では、やって当たり前と思うのではなく、保護者の評価があれば子どものやる気も継続して続していくのだと思う。
- 地域とのかかわりが評価されると、地域の者もうれしい。
- ホームページ等の発信については、自分の学年の記事に関心が高いのは親として当然だと思うが、学校全体としても見てほしいと思う。
- 担任の先生がホームページの記事を上げるのは、授業もしながらなので難しいと思う。ホームページの担当の先生とかはいないのか。
- ホームページの記事にのせる写真は、個人情報保護の観点からも気をつけたほうがいい。
- 小中一貫校になった時に、これまでの第二小のように地域がかかわっていき、地域と学校が協力して教育できる機会をつくってほしい。
- 生活点検は必要だと思うが、その結果がどのように生かされているのかが分からなければ、やらされているという思いが強くなる。結果やその活用方法をしっかりと発信してほしい。
- 道徳の授業などについても記述があるが、返し方はいろいろあると思うが、学校として何らかの返しが必要なのではないかと思う。